

11.3「足尾・中倉山のブナを元気にする恩送り」

一世紀以上も中倉山の稜線に生き続ける「孤高のブナ」の根を保護する活動を行います。



東から見たブナ(写真右側の土砂流出斜面の根を保護する植生袋から草が生える様子 2024年8月)

栃木県日光市足尾町・中倉山の無言の語り木(孤高のブナ)に会いたいと、中倉山を訪れるハイカーが絶えません。稜線に生き続ける「孤高のブナ」がパワースポットになっているようです。

私たちは、“煙害の生き証人”と言えるこのブナが、これからも語り部(木)として多くの登山者に発信しつづけてほしいと願います。また、多くの登山者に命のパワーを授けてほしいと願っています。2017年からこのブナが少しでも長生きをしていく環境を整えるために、ブナの根を保護する活動を行っています。

昨年4月29日の恩送りでは、“煙害の歴史”と共に“未来への希望”を継承するため、「孤高のブナ」の実から育てた幼木、「希望のブナ」を南斜面に植林しました。

新型コロナウイルス感染予防、登山の安全に努め、「足尾・中倉山のブナを元気にする恩送り」を下記の通り実施します。ご支援、ご協力をお待ちしています。

協力してくれる方は裏面をお読みください。

「記」

名 称：足尾・中倉山のブナを元気にする恩送り

日 時：2024年11月3日(日)

受 付：足尾ダムゲート・7時～7時30分

集 合：登山口 8時30分

内 容：ブナの根を保護するため、土壌が流出する北斜面に草の種の入った袋(植生袋)に腐葉土を入れ貼り付け。希望のブナ観察

日 程：8時30分登山開始 → 12時～13時山頂で作業 → 昼食・その後は解散。

持ち物：リュック、雨具、手袋、飲料水、昼食等の登山必需品は各自で用意してください。

<作業概要>

当日は、参加者に乾燥させた腐葉土(約1kg)と草の種入り袋をリュックに入れていただき、山頂(1520m)西側稜線のブナまで運び上げます。その袋に腐葉土を入れてブナの根の周りの斜面に貼り付けます。作業に必要な用具等は森びとが現地に運び揚げます。

作業終了後「希望のブナ」の観察を行います。

<下山タイム参考>

★13時下山開始 → 14時30分頃登山口着 → 15時30分頃ダムゲート着。

<前回の現場の様子>



写真左：植生袋の貼り付け作業。(2024年4月)



写真右：葉を広げる“希望のブナ”。(2024年8月)

<問い合わせ先>

主催：森びとプロジェクト

住所：〒141-0031 東京都品川区五反田 3-2-13 目黒さつきビル 3F

TEL/FAX: 03-6417-3750

E-mail: info@moribito.info

申込締切日：2024年10月17日(木)

